

## 令和7年1月期 随時モニタリング実施について

日 時 令和7年2月13日(水) 13時30分～15時30分

会 場 加茂野保育園 職員室

出席者 美濃加茂市・株式会社セリオ

内 容 (○：市 ●：指定管理者)

・令和7年1月期の報告

### 1. 本部及び統括エリア長の報告について

#### 【本部より】

##### ●見守りカメラ設置について

設置工事日程：3月2日、3月9日、3月15日の三日に分けて実施。

現在、利用していないテレビをモニターとして使用できないかキャノンへ依頼中。

防災安全課への届け出は3月15日付で提出予定。

- 防災安全課への届け出については、以前提出いただいたものと内容に変更がなければ改めて提出いただく必要はない。

#### 医療的ケア児受入について

##### ●受入に係る人件費について(年間)

看護師正社員 4,558,800円

(月額302,000円×12か月分、賞与実績ベース3.0か月×社会保険料0.2)

ファミリア(非常勤職員) 2,070,000円

(時給1,150円×月75時間×12か月分)

ファミリア(非常勤職員)は75時間を2名採用予定。

- パーテーション設置及び、保護者から預かる消耗品等を保管する棚の購入見積もりを依頼中。提出され次第、市へ共有する。

- 令和7年度の国予算資料によると、医療的ケア児保育支援事業の補助基準額は以下の通り。

基本分単価：看護師等の配置 1施設当たり 5,290千円

加算分単価：補助者の配置 1施設当たり 2,232千円

(※医療的ケア児保育支援者の配置 1市区町村当たり 2,232千円は市区町村への補助のため対象外)

- 保育対策総合支援事業の保育環境改善事業(障がい児受入促進)は、医療的ケア児受入のための施設整備に使える補助金で基準額は1,029千円。

パーテーションはこちらの補助金を使うことになると思われる。

- 基本分単価について、2名以上の医療的ケア児の受入が見込まれる保育所等において看護師等を複数配置している場合、5,290千円を加算するとあり、それを認めている自治体もあるが、美濃加茂市はどうか。

- 現状複数人の医療的ケア児保育の需要があると見込んでいない。需要が増えてきた際にご相談いただくことになる。

- 需要の掘り起こしが進んで希望者が出てきた際に協議させていただく。

### 【統括エリア長より】

- 2月6日 ハッピーライフ面談（部長等と一緒に年度当初に立てた事業計画や職員の満足度調査を中心に各園の振り返りをする取組）を実施した。
- 加茂野保育園はセリオ内の他の園と比べて職員満足度調査がかなりよかった。  
特に園内研修に積極的に取り組んでいることが話題に上り、研修の講師役となる保育士を、当番制にして回していることが高い満足度につながっている良い取り組みだと感じる。
- チームワークの良さが目立っており、園長・副園長・主任を中心に職員一人一人が迷子になることなく園の目指す方向性をしっかり分かって仕事をしていただいている。
- 加茂野保育園ならではの取り組みである動画配信は社内初の取り組みで、評価されている。
- いろいろな課題は各園あるが、園長・副園長・主任を中心に話し合い、解決できている点も大きな評価点。

## 2. 園長及び副園長による保育の様子について

- 参観日の準備に取り組んでいる。
- 年少クラスを中心に支援が必要な園児に対しての本番の対応の仕方などを考慮しながら全体で進めている。見せ方などの工夫。
- リハーサル後に全主担での意見交換を行うなど、準備の段階からみんなで一緒に行っている。
- 年中ゆり組の担任がお休みをしているので、主任と園長、副園長、本部保育士で見ている状況。
  
- 0、1歳児の常勤が固定できていないので園長を含め、副園長、看護師がクラスに入るなどサポートを行い、固定で職員が入れるように配慮を行う。
- 休職していた職員はフルタイムで業務ができるようになっている。気持ち的に波はあるので負担を軽減し、本人が抱え込まないようにサポートを行い、気持ちを引き出せるように定期的に面談も行っている。

## 3. 児童の様子について

- 大きな事故や怪我は無し（その都度、共有済み）

## 4. 保育の質の向上について

### ①人員体制の維持拡充

（職員採用、フリー保育士の配置、クラス複数担任制、保育補助スタッフ等の配置）

- 引き続き、保育士、通訳、警備員、用務員の採用に努める。
- 2月13日 用務員の面接実施。
- 来年度に向けて、現在具体的にどれくらいの採用を見込んでいるのか教えてください。
- 来年度の児童数は現時点で137名の予定。新規採用2名も含めて現在採用が決まっている職員だけで、配置基準の1.09倍の職員数となる見込み。セリオでは+2配置を基準に運用しているため、さらに正規職員1名、早番・遅番の非常勤職員1名ずつ、計3名を採用したいと考えて募集している。

## ②積極的な研修受講

(子ども中心の保育理念に基づく研修、遊び中心の保育の実践方法に関する研修  
コミュニケーションと関わりに関する研修)

- 2月13日 園内研修(テーマ:保護者対応)
- 2月22日、3月8日 救命講習(普及講習を受けた看護師による)→全職員完了予定

## ③チームワークを高めるための取組み

(園内研修、公開保育、交流保育)

- 園内研修の実施
- 公開保育の参加、実施  
1月23日 もも組
- 昼礼でのこまめな振り返りの実施。
- 先月から Google フォームを使った、1か月の振り返り(よかったこと、悩んでしまったこと、その他)をファミリア(非常勤職員)からもらうようにし、かなり意見を拾えたのでやってよかった。今後も継続予定。

## ④保護者との円滑なコミュニケーション

(保育参加の促進、園庭開放の実施、園内掲示物の充実、コドモンの活用  
登降園時の直接的なコミュニケーション)

- 保育参加について  
12月からは未満児の保育参加開始予定。  
積極的に参加をしてもらっている。  
保育参加後、保護者の声をお伺いする。声かけを園の方から行うようにする。
- 2月13日、2月14日 0~2歳児のブラインド参観実施予定。
- 来年度、個人懇談実施予定。(以上児対象)
- 園庭開放の実施について  
前は参加者なし(キャンセル)  
今回は2月25日実施予定
- 園内掲示物の充実  
文書箱からのポスターなどを随時、掲示している。  
クラスの壁面を廃止し、給食室前の大きな壁に学年ごとの製作物の掲示を行う。
- 来年度よりコットを導入予定。(0、1歳児)。再来年度は0、1、2歳に導入。
- 市の保護者アンケートで食育に関する項目の改善が見られ、コドモンで園だよりを配信するときに一緒に給食調理事業者が作成した食育通信をつけるようにした効果の表れかと思う。

## ⑤その他

(登降園時の見守り活動、地域との連携など)

- 地域との連携について  
小学校との連携、年度末に運営委員会に参加予定。
- すもう大会に民生委員の方と第三者委員の方を招待。  
招待状は園児が作成。

## 5. 保育サービスの充実について

### ①希望保育特別活動の実施

- 英会話レッスンの実施。(月に2回)  
来年度も実施していくが、園の状況や遊びこむ保育時間の確保の為、月1回の実施への変更を市と相談しながら検討。
- サッカー教室は今年度の途中から月1回実施。ただし暑さが厳しい6月～9月は園児の体調を考慮し、来年度は中止を検討。
- スイミング実施については、他の特別活動との兼ね合いや需要を鑑みてR7から実施するか検討。

## ②トヨタカレンダーに基づく休日保育の実施

- 実施を検討していく上で需要があるかなど把握する為に保護者へアンケートをとる予定。

## ③医療的ケア児保育の実施

- 12月6日 セリオ系列園の医療的ケア児の入所案内資料および体験保育スケジュールを市へ提出。  
人員配置体制および人件費の予定は前述の通り。

- 事務所内に医療的ケア児の保育室を確保する為のパーテーション設置の見積中。

## ④その他(児童館利用者への園庭開放、おむつのサブスクリプション)

- おむつのサブスクリプションは継続中。来年度も実施予定。

## 6. その他

- 市施設照明のLED化事業が進んでいる。今年度から来年度にかけて設計。来年度から工事実施となる。事業者が決定したため後日園の現地確認に来る。日程調整をお願いしたい。

- プールの水漏れ修繕が完了したかと思うが、その後の様子はいかがか。

- 手洗い場の水漏れはなくなった。もともと水漏れの場所がはっきりわからなく、これ以上の修繕は大規模になり費用もかかると聞いている。

- ひとまず大きな水漏れはなくなり落ち着いたということで、今後何かあればまた報告をください。

- 12月の保護者アンケート結果の共有。保護者満足度の向上が見て取れる。

- こども未来課保育士から

【訪問日：1月23日(木)】 10:00～14:00

1年目保育士の園内研修(園内保育士への公開保育)に参加した。

◎年少(もも)組	・・・男児7名	} 合計15名
	女児8名	
◎保育内容：すもうあそび		
◎ねらい：保育士や友だちとすもう遊びを楽しむ 勝った喜びや負けた悔しさを経験する		

- 保育を終えての感想(1年目の保育士)

- ・活動から外れてしまう子への対応を悩む
- ・日によってこどもたちの様子が違い、対応に困ることがある
- ・導入が難しかった

- ・保育をどう進めてよいかわからない
- ・終わりをどうまとめてよいか迷った

○園内研修後の研究会

- ・子どもたちへの対応を考える・・・方法・かかわり方・クラス全体を見守る  
みんなと一緒に遊ぼうとしない子を、いないものとしな
- ・先生との信頼関係・・・この先生なら楽しいことをしてくれる  
この先生なら安心  
この先生ならちゃんと応えてくれる  
この先生の言うことなら信じよう
- ・主担としての責任・・・次の活動の指示を、誰がこどもに伝えるのか？（責任を持つ）  
保育士同士の連携（保育士の立ち位置・声掛けの仕方など）
- ・園内研修に年長組の保育士も参加していた（お互いに学ぶことができる）
- ・保育士の勉強（資質向上）のために公開保育を活用している（公開保育への参加率がよい）

もう一步踏み込んだ・もうひと段階上の信頼関係を築くことが大切

ケガをした子への対応

- ・事故報告書の提出（病院を受診したケガに対してこども未来課に報告があった）
- ・事故が起きたことに対しての分析・対応をしっかりと行うこと

- ・次回こども未来課保育士訪問日 令和7年2月25日（火）
- ・次回随時モニタリング 令和7年3月14日（金）13時30分から